

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

進行上皮性卵巣癌に対する術前化学療法の至適レジメンに関する後方視的検討
SGSG-017

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院産婦人科

【研究責任者】 宇佐美 知香（産婦人科 助教）

【研究代表者】 兵庫県立がんセンター 婦人科 長尾 昌二

【研究の目的】

過去に受診された卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は卵巣癌、卵管癌、腹膜癌患者さんにおける有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2007年1月1日から2016年12月31日の10年間に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちFIGO：III～IV期の上皮性卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の診断で、手術の前に化学療法を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報）

1) 患者基本情報

年齢、PS、臨床進行期（最終診断）、組織型（最終診断）

2) 治療開始時情報

身長、体重、血栓症の有無、腹水の情報

3) 化学療法情報

開始日、使用薬剤、投与サイクル数、副作用等

4) 手術情報

手術日、術式、手術の合併症等

5) 術後化学療法情報

使用薬剤、投与サイクル数

6) 患者予後情報

再発進行診断日、死亡日または最終生存確認日、死因

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって兵庫県立がんセンターに送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 兵庫県立がんセンター 婦人科 澁谷 剛志

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院産婦人科 宇佐美 知香

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5379